

洋上風力発電（浮体式実証）の愛知県候補海域の概要

国（NEDO）のグリーンイノベーション基金『洋上風力発電の低コスト化プロジェクト フェーズ2（浮体式実証）※1』の候補海域の1つ※2として、「愛知県田原市・豊橋市沖」が選定されました。

田原市・豊橋市沖は風況が良く、電力需要地に近いため、全国でも有数の洋上風力のポテンシャルが高い地域です。今後、この海域で実証事業がおこなわれるよう、漁業関係者と十分調整を行いながら、応募を検討する事業者に対して積極的に協力していきます。

※1 予算額：上限850億円。風車・浮体・ケーブル・係留等の一体設計を行い、2030年度まで全国2箇所程度において実証を実施

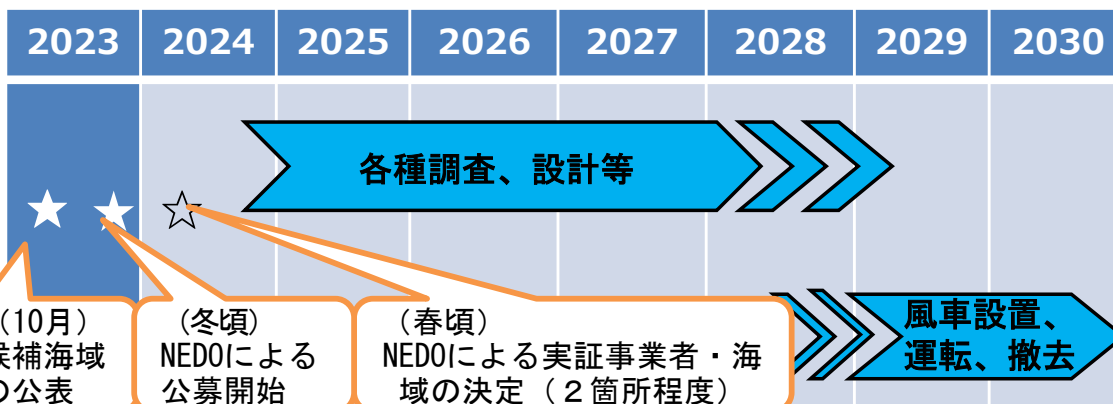
※2 他に3海域を選定（北海道2海域、秋田県1海域）

【概要】

実施要件等	内容等
所在地	愛知県田原市・豊橋市沖
面積	約13.06km ² （1,306ha）
想定出力	1～3万kW（1～2基程度）
主な自然的条件	①風況：8.5m/s～9.0m/s ②水深：約80m～130m ③離岸距離：約14km～18km

【今後のスケジュール（想定）】

（年度）



国へのヒアリングに基づき県で作成

【位置図】



【イメージ】



NEDO「NeoWins（洋上風況マップ）」をもとに作成。